

# 教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 NEW BEACH 】

|                          |            |             |             |                              |
|--------------------------|------------|-------------|-------------|------------------------------|
| 代 表<br>者の所<br>属・<br>職・氏名 | 芦屋市立打出浜小学校 | 連<br>絡<br>先 | 住所          | 芦屋市新浜町 8-2                   |
|                          | 教諭 ・ 今若孝広  |             | T E L       | 0 7 9 7-2 3-4 5 8 1          |
|                          |            |             | F A X       |                              |
|                          |            |             | e-mail アドレス | imawaka.142@edu-ashiya.ed.jp |

## 活動実績

### 研究テーマ

- ・若手教員の授業実践を中心とした教師としての力量を高める。

### 【研究の概要】

- 5月6日 学級（授業）開きの交流と年間計画を立てる。【打出浜小学校：10人】
- ・「学級づくり＝授業づくり」何を大事にするのか？
  - ・「今、目の前の子どもをみて」何が問題か？
  - ・授業実践者としての自身の課題は何か？
- 6月22日 「今、授業で悩んでいること」を交流。【打出浜小学校：10人】
- ・今後の方策を探る。
- 7月6日 授業公開Ⅰ（5年生）【打出浜小学校：16人】
- ・水泳の授業において「学び合う」とは？
  - ・グループ学習の必然性とその効果について
- 7月28日 読書会（学び合いとは？アクティブラーニングとは？）【打出浜小学校：10人】
- ・学び合いの深化を図るためには？
  - ・研究図書「教育変革への展望」輪読  
学び合いの深化を図るために具体的方策を検討した。
- 10月28日 授業公開Ⅱ（4年生「算数」）【打出浜小学校：16人】
- ・講師招聘
  - ・授業構想の際に子ども把握の重要性について
  - ・教師と子どもとのつながりについて
  - ・グループにおける学びとは
- 12月14日 授業公開Ⅲ（2年生「体育」）【打出浜小学校：16人】
- ・講師招聘
  - ・低学年期における授業マネジメント
  - ・着目児童をどう生かすか。
  - ・教師の教授意図の重要性について

1月25日 1年の実践を振り返って【打出浜小学校：16人】

- ・「学びは深化したか？」

各教科における学び合い、発達段階に応じた学び合い、ICTと学び合いについて交流した。

- ・「自身の実践をふりかえって」交流。

次年度に向けて、自身の授業実践における課題を明確にもつことができた。

**【成果】 教師の力量を高めるために 「学び」 についての視点**

○教師の「立ち位置」→“この子”の視点から「学び」を考える

- ・人権教育の視点で「学び」を考えるということ
- ・どの子にこだわって（着目して）、「学び」に向けて取り組むのか
- ・「立ち位置」＝原点 常に立ち戻り、自らの実践を検証しながら進める

○「あれか」「これか」のどちらかではなく、「あれも、これも」バランス良く

- ・「一斉学習」「グループ学習」「班学習」等の客観的な分析は重要
- ・どちらが正しいかではなく、総合的に考える
- ・子どもたちが「学び」に向かうためには何が必要かを教師が学び合う
- ・何より「学び合う」姿を学校全体で共有できる方向で  
(別紙：「学び」の約束、「グループ学習」の目的・段階)

○「ひとりの達人」よりも、学校としてのシステムで子どもたちのために

- ・「学び」を進めるのは誰のためか？生徒指導も授業も同じ。ひとりの達人では子どもを救えない。
- ・各個人、各教科に任せるのではなく、学校全体のシステムとして行えるのがベター  
(教科、学年を越え、子どもの学ぶ姿をみとっていく)
- ・システムを構築したところに、「達人教師」の個性が光る(＝持ち味の発揮)

○わからないことを、わからないと言える集団をめざして

- ・「学び」の基盤は学習集団づくり
- ・「教室はまちがうところだ！」・・・子どもも教師も保護者も「ひとりぼっち」をつくらない学校、学年、学級集団づくりを進める

**【課題】 教師こそが人間性を磨くこと**

- ・教師こそが最大の教育環境である。肝に銘じておきたい。

我々がいかに自分を高め、磨こうとしているかが大事である。

教師が成長してこそ、子どもの成長がある。

よき学び手は謙虚である。我々教師も謙虚であるか、素直であるか、常に反省的に実践を積み上げていく必要がある。